

X 野ねずみ

(1) 毒餌法・捕獲法

	薬 剤 名	使 用 方 法
農 薬 使用基準 (殺そ剤)	ヤソヂオン	小袋詰をそ穴に投入するか、野その通路に配置する。
	リン化亜鉛粒剤(1%) 【メリーネコりん化亜鉛、ラテミン リン化亜鉛1%、リンカS・1等】	そ穴に所定量を投入する。

防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
根 雪 前 (11~12月)	(毒餌法) 1. ヤソヂオンは10~20gの小袋詰をそ穴に1袋投入するか、野ねずみの通路に配置する。喫食したら補給する。 2. リン化亜鉛含有粒剤は所定量または小袋詰をそ穴に投入する。	1. 使用方法は適用登録の抜粋であるので、薬剤ごとの使用方法はラベルを確認すること。 2. 駆除は広範囲で一斉に実施する。毒餌は野ねずみの活動している穴にたんねんに投与する。特に水田地帯は畦畔に、畑地は雑草の多い場所に穴が多いので、草刈りして見落しのないようにする。 3. 野ねずみの食物が豊富にある時期には喫食が悪く効果が低い。 4. 夏期はリン化亜鉛の効果が低い。
融雪直後 (3~4月)	(捕獲法) 1. パチンコを活動穴端へ仕掛け4~5日続ける。 2. 粘着板を活動場所に配置し、誘引するために複数の餌を板の中央部に置く。	5. 水田地帯は植付けて1カ月以内に駆除する。 6. 毒餌調整の際には必ずゴム手袋・マスクを着用し、危被害防止に心がける。また、毒餌と食物ないし飼料等が混ざらないようにする。 7. パチンコの餌はそのほ場や付近に栽培されている物を用いる。夏期にはりんご、水稻の茎など水分の多い物は毎日取り替える。 8. 粘着板は穴の少ない夏期の捕獲に有効で、草むらの野ねずみの通路に配置すると捕獲効率が高い。 9. わい化栽培のりんごは特に被害が多い。園内の整備に努め、毒餌を併用して防除する。
水稻植付直後 (5~7月)		

(2) 忌避法

作物	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
りんご	フジワン粒剤	本剤の所定量を樹冠下半径約50cmの範囲の土壌と均一に混和する。	根雪前	2回以内	

防除時期	防 除 方 法	注 意 事 項
根 雪 前 (11~12月)	(忌避法) 【りんごわい性台樹】 フジワン粒剤を樹当り200g、樹冠下半径約50cmの範囲に均一に散粒する。	1. 樹冠下の落葉や雑草などは予め取り除く。 2. 散布後はレーキ等で表土と混和した後、鎮圧する。 3. 園の全樹に処理する。